

# 東京国際空港 自走出発方式の取組状況

---

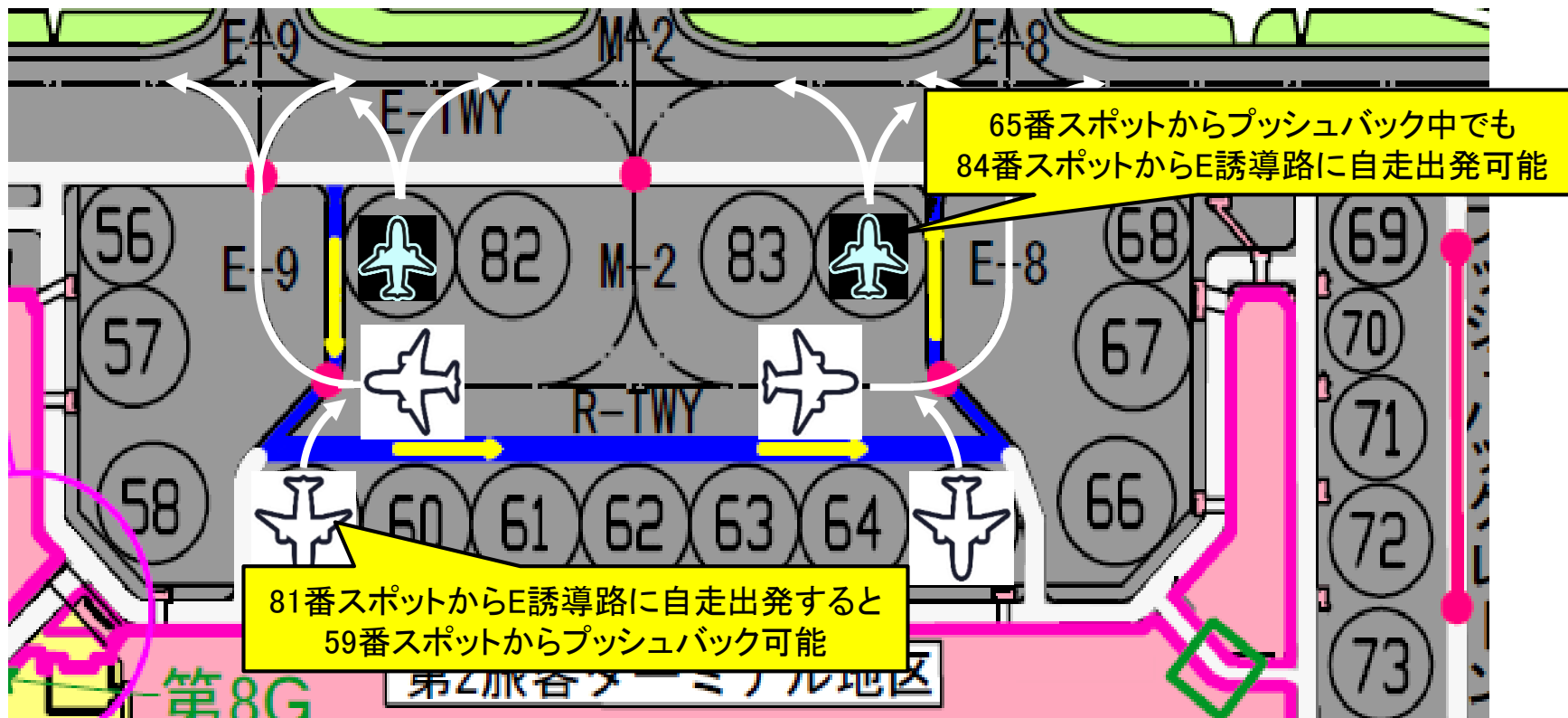
国土交通省航空局交通管制部  
令和5年3月

東京国際空港 運航効率化推進官 見える化資料別紙  
(令和4年9月)  
「自走出発方式による効率性の継続検証」編集

# 自走出発方式の概要

令和3年7月 全日空は、東京国際空港の81・84番スポットで自走出発方式運用開始

\*令和4年4月、82番スポットでも自走出発方式運用開始



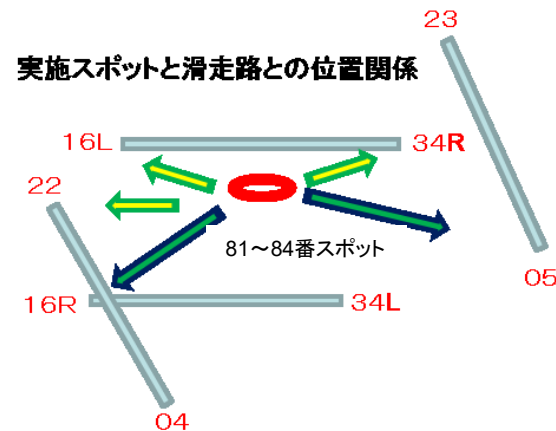
## 【自走出発方式の期待される導入効果】

- ・ 誘導路上における待機の軽減
- ・ 航空機牽引車の手配不要
- ・ 地上走行時間の短縮
- ・ スポット使用率の向上

# 具体的な導入効果 81番・84番スポット

## 1. 地上走行時間の短縮 5分程度の出発地上走行時間の短縮

出発滑走路	81・84番スポット		効果
	Before	After	
05	15分	10分	5分短縮
16R	15分	10分	5分短縮
22	14分	8分	6分短縮
16L	12分	7分	5分短縮
34R	12分	7分	5分短縮



\* 航空交通管理センター提供データ編集。Before(2021年4~7月15日)、After(2021年7月16日~2022年7月)、いずれも中央値

## 2. スポット使用便数の増加 +149便(月換算) (効率的なスポット運用)

	Before	After	効果
81番スポット	9便	88便	+79便
82番スポット	13便	47便	+34便
83番スポット	8便	28便	+20便
84番スポット	7便	77便	+70便

(※2022.4~ 82番スポットは自走出発方式運用開始)

\* 航空交通管理センター提供データ編集。Before(2021年4~7月15日)、After(2021年7月16日~2022年7月)、比較のため1月あたり平均便数として換算

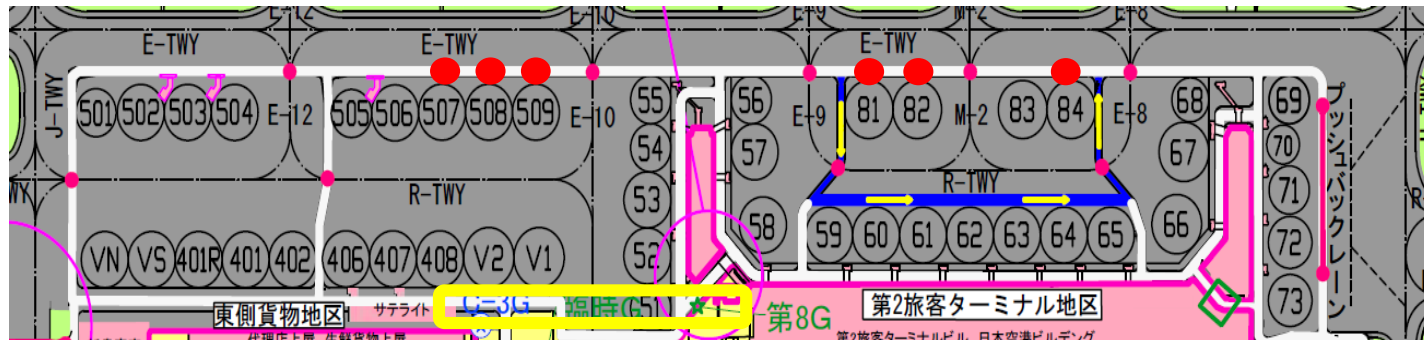
令和3年7月16日より、81・84番スポットで自走出発方式の運用を開始。  
出発時のプッシュバックが不要となり、地上走行時間の短縮及びスポット使用便数の増加が見られた。また、周辺の50・60番台固定スポットからのR誘導路上でのプッシュバック競合が減少し、他便の定時性確保へも寄与。

令和4年4月16日より、82番スポットにおいても自走出発方式の運用を開始。

さらに、令和5年2月10日より、507番～509番スポットにおいても自走出発方式の運用が開始され、全日空のみならず、ソラシドエアとエアドゥも加わった。

第2旅客ターミナルとサテライトを接続する整備が進められ、工事期間中は固定スポット閉鎖に伴って500番台オープンスポットの使用便数の増加が推測される。

500番台スポットにおける自走出発方式の運用開始



第2ターミナル／サテライト接続工事